

令和4年度学校教育自己診断分析結果

○全体的な内容

今年度より、泉大津高校の『ねがい』「どんな社会でも揺るがない土台「心幹」を持ち、他者とコミュニケーションをとりながら、自分の人生を、社会を豊かにできる一人前になろう」に基づき、すべての教育活動を実践している。「学校は、「泉大津高校の『ねがい』」に向かう教育活動を行っている。」の質問項目においては、保護者の肯定的な回答は82%と高評価であったが、生徒は69%に留まっている。今後も「泉大津高校の『ねがい』」を広く周知し、継続的に教育活動を行っていくことで、より一層充実した教育活動が展開することができると考えている。

「自分が学びたい科目を選択することができる」や「将来の進路や生き方について考える機会がある」の質問項目において、肯定的な回答が90%以上となっている。これは「泉大津高校の『ねがい』」に基づいた本校生徒の「学び」に対する主体的な態度が反映されたものだと考えられる。一方で学校行事に対しては、文化祭の項目において、近年初めて80%を下回ってしまっている。コロナ禍の制限が残っている中での開催であったことが影響していると考えられるが、引き続き各部署と連携を図りながら、生徒が主体的に取り組めるより良い学校行事をめざしていきたいと考えている。

「学校は、保護者の相談に適切に応じてくれる」や「学校は、将来の進路や職業などについて適切な情報提供を行っている」の質問項目において、肯定的な回答が85%以上となっている。保護者懇談をはじめとする日頃からの様々な場面において、保護者と小まめに情報共有を行っていることが反映されたと考えられる。一方で、「何とも言えない、わからない」の回答率が高く、情報発信については課題があると考えられる。引き続き、保護者への教育情報の提供に尽力していきたい。

○各分掌より （ ）内の番号は質問番号を示しています。

【教務部】

生徒(4)「自分が学びたい科目を選択することができる。」

⇒ 生徒のニーズに合った科目の設定ができており、希望に沿った選択ができるようになっている。

生徒(5)「情報機器の利用や実験・実習など、体験的な授業が充実している。」

⇒ 授業は講義形式の授業だけではなく、様々な工夫がなされている。

生徒(9)「(参加したことがある人のみ) 授業以外の講習は満足できる。」

⇒ 3年生は夏期講習においては多様な講座を開講しているため、生徒のニーズに合致していると考えられる。

【生徒指導部】

保護者(9)「学校の生徒指導の方針に共感できる。」

⇒ 日々の指導において、保護者の方にこまめに連絡を行っているため回答があった多くの保護者の方に理解をいただいている。

保護者(13)「学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。」

⇒ 日々の声掛けが生徒を通して保護者の方にも伝わっていると考えられる。

生徒(14)「学校生活についての先生の指導には納得できる。」、(25)「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」

⇒ 学校や社会のルールを理解して生活できるように粘り強く生徒指導を行っていく必要があると考える。

【生徒会指導部】

生徒(20)「文化祭は楽しく行えるよう工夫されている。」、(21)「体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。」

⇒ ルールをしっかりと守って学校行事を実施していける体制を整えたことが、生徒の理解を得られず、満足度の低下につながったと考えられるが、粘り強く丁寧に説明を行っていききたい。その上でルールを理解して楽しめる学校行事を生徒自身が主体的に創り上げていけるようにサポートしていききたい。

生徒(24)「部活動は活発だと思う。」

⇒ 数値は大きく変動していないが、部活動加入率は減少しているので、クラブ紹介や体験入部など継続的に実施していききたい。

【進路指導部】

生徒(15)「学校は、進路についての情報を知らせてくれる。」

⇒ 進路の情報提供については80%余り、保護者(11)も75%前後を維持できており、これからも引き続き様々な進路情報を提供していききたいと考えている。

生徒(16)「将来の進路や生き方について考える機会がある。」

⇒ 将来の生き方や進路について考える機会は上昇して90%を超えた。「探究」の学習成果であると考えている。

生徒(17)「進路指導室（資料室）は利用しやすい。」

⇒ 今年度は3学年フロアと進路資料室がある階に相違があったため、進路資料室の利用については66%の評価に留まったと考えられる。

【保健総務部】

生徒(28)「学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。」

⇒ 今年度は本格的な避難訓練が実施できたので、数値が上がったと考えられる。今後も継続的に訓練は実施したいと考えている。

生徒(29)「清掃当番など校内の美化活動にきちんと取り組んでいる。」

⇒ 継続的な指導とコロナ禍の影響もあり、生徒の美化意識は確実に高まっている。

保護者(8)「子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる。」

⇒ 相談できる環境は整っている。保健室への相談者数も増加しており、気軽に相談ができる体制があると考えている。コロナ禍による、心的不安の増加も背景にあるかもしれない。

保護者(18)「PTA活動に参加することがある。」

⇒ 役員をはじめ一定数の保護者の参加をいただいている。PTA学級委員による行事参加も活発である。